

秋田市内の高校生 企業を取材

動画制作し魅力披露



取材した企業の魅力や動画制作に込めた思いなどを説明する生徒

秋田市の高校生が市内の企業を取材し、魅力を動画にまとめて紹介するイベントが同市の秋田オーパで開かれた。3校の計9人が各社の取り組みなどを発表した。

市の主催。取材を通して地域に根差す企業の魅力を高校生に知ってもらおうと、初めて企画した。秋田クラーク高等学院、さくら国際高校秋田キャンパス、秋田工業高校の生徒がそれぞれ企業を訪問。各社の特色を聞き取って動画を制作し、1月24日

に取材成果とともに披露した。

秋田クラーク高等学院の2年生4人は、「プレステージ・インターナショナル秋田BPOメインキャンパス」（新屋島木町）を訪問。拠点長へのインタビューから、社員のニーズに合わせてシフトを組める「働き方の多様性」が魅力と感じて約4分半の動画に仕上げた。

生徒代表の田中正羽さんは「ロゴマークの使用ルールなど、動画制作の規則に従って編集するのが難しかった。企業からも感謝の言葉をいただけ、やりがいを感じた」と話した。

さくら国際高校秋田キャンパスは羽後電設工業（八橋イサノ）が手がけたこまちスタジアムや県立総合プールを訪れ、取材の様子や施工実績をまとめた動画を制作。秋田工業は東北電材（外旭川）の電設資材や通信機器が公共施設や電線などに使われ、地域のインフラを支える「縁の下の力持ち」と紹介した。

（武田桜子）